

健康関連数値

分類	項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
健診・検診	定期健康診断受診率	%	100	100	100	100
	二次検診受診率	%	100	100	100	100
身体的な健康	有所見者率	%	77.0	72.0	79.0	76.9
	40歳以上適性体重維持者率 (BMI18.5～25未満の者)	%	75.9	70.6	73.0	68.8
生活習慣	40歳以上喫煙率	%	19.0	20.5	21.4	20.9
	40歳以上運動習慣者比率	%	20.3	22.5	24.4	24.5
	特定保健指導利用率	%	85.1	75.0	85.1	79.7
精神的な健康	ストレスチェック実施率	%	100	100	100	100
	メンタルヘルス不調者新規発生率	%	0.2	0	0.2	0.45
労働時間・勤務状況	年間1人あたり総労働時間	時間/人	1973.5	1970.4	1973.6	1949.1
	傷病による休職率	%	0.2	0.1	0.2	0.4
	有給休暇取得率	%	73.2	66.1	67.4	73.8
	業務効率 (アブセンティーズム測定による)	%	10月98.2 3月98.7	10月99.2 3月99.3	10月99.0 3月99.2	10月98.8 3月99.4
	業務効率 (プレゼンティーズム測定による)	%	10月96.7 3月98.4	10月98.6 3月98.7	10月99.1 3月98.9	10月99.1 3月98.6
	ワークエンゲージメント (ストレスチェックによる偏差値)	...	50	50	50	50
定着状況	正社員の平均勤続年数(男) / (女)	年	14.8/18.8	15.0/17.5	15.4/15.7	15.9/15.5
	正社員離職率	%	1.9	0.3	1.5	1.9
家族の健康対策	被扶養者特定健診受診率	%	43.5	41.4	42.9	48.2
その他	従業員と家族の健康増進 および交流を目的としたイベント費用	円/人	5,000	5,000	5,000	5,000

企業経営に対する健康経営の効果

当社では新卒採用の製造部要員については、市場において獲得競争が非常に激しい工業高等専門学校生（以下、高専生）を採用しており、2017年での応募者数は2名だった。ホワイト500取得後における応募者数は大幅に増加し、取得前と比べ応募者数の実績倍率が約10倍へと劇的に変化した。高専生のみならず、大学生・大学院生の応募実績倍率もホワイト500取得後は同様に増加している。

健康課題の改善

定期的実施しているアプリを利用したウォーキングイベントや、毎朝のラジオ体操、毎日15時に取り組むオリジナル体操(DKS EXERCISE)により、40歳以上の運動習慣率が2019年の20.3%から2022年には24.5%にアップした。それに伴い健康管理目標に設定している、腹囲基準を超える者の割合が2019年の30.7%から2022年度には28.8%と改善傾向にある。